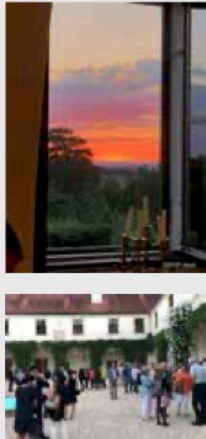


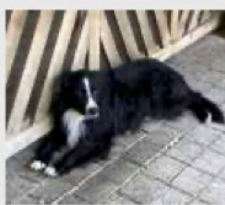
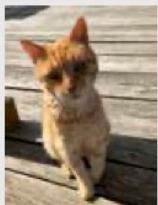
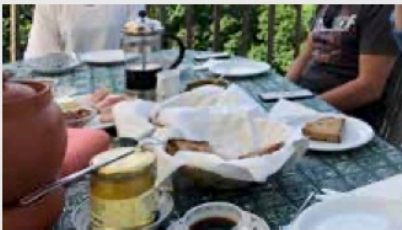
ROIP News Letter

ロースドルフ便り (No.2)

オーストリアには夏時間（サマータイム）制度が導入されていて、3月最後の日曜日から10月最後の日曜日まで時計の針を一時間早めます。いつもよりも1時間ほど長いこの時期、ロースドルフ城では、城主主催のコンサートを開催します。



オーストリアは湿度の低い大陸性気候で、山岳地帯が多いため夏は涼しく冬は厳寒。夏は30度を超える日もありますが、日本のような湿気はなく、過ごしやすく感じます。今回の滞在では、小鳥のさえずりをBGMにテラスで朝食をいただきました。



修復品第1号 お披露目

オーストリア・ウィーン近郊のロースドルフ城に眠っていた江戸初期の”幻の古伊万里”が、2019年6月29日に行われたG20大阪サミット配偶者プログラム2日目の昼食会にて紹介されました。古伊万里再生プロジェクトが呼びかけ、日本の高い技術で修復したばかりの300年前の大皿（古伊万里金襴手）を「平和のシンボル」として紹介。各国・国際機関の来賓は、背景にあるストーリーを熱心に聞き、美しい大皿に興味深げに眺めていました。



在ウィーン日本大使館より150周年記念事業に認定

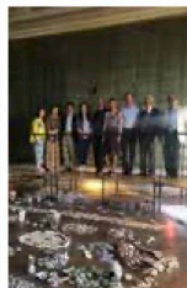
古伊万里再生プロジェクトは事業の一環として、今夏ロースドルフ城にて学術調査を行います（監修荒川正明先生・学習院大学教授）。調査の対象となるロースドルフ城の約1万点以上の陶片群は、日本のやきものが欧州にて受容された歴史、西洋のやきもの生産に与えた影響を解き明かす貴重な資料です。現地にて行われますこの度の学術調査は、在ウィーン日本大使館より日本オーストリア友好150周年記念事業に認定されました。

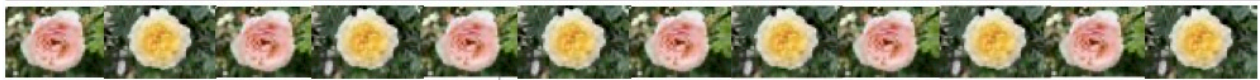
ANA協賛決定

全日本空輸株式会社様より、古伊万里再生プロジェクトへの応援を頂けることになりました！2月に就航したばかりのANA羽田＝ウィーン直行便は、ふたつの首都を快適につないでいます。ROIPはロースドルフ城の古伊万里をつなぎ、日本と世界を文化でつなぐ活動を展開します。

ロースドルフ城での学術調査スタート

ウィーン近郊ロースドルフ城にて、学習院大学・荒川正明教授（日本陶磁史）による古伊万里陶片の調査が行われています。昨秋に続く今回の調査で、日本のやきものが西洋へ渡った歴史に新たな発見が加わることが期待されています。関係各位が日本より来訪、古伊万里再生プロジェクトから代表保料が随行しました。この学術調査をもとに2020秋、東京・大倉集古館にて展覧会開催が予定されています。





城内には、城主自ら丹精込めて育てている薔薇の香りがあふれています。古城のあちこちに咲き誇る薔薇は、時の移り変わりを静かに眺めているのでしょうか。



ご寄付のご案内

一般社団法人古伊万里再生プロジェクトでは皆様からの貴重なご寄付で活動・運営しております。日本とオーストリアの友好親善の懸け橋となるよう皆様からのご寄付・ご支援をお待ちしております。

寄付金口座：三菱UFJ銀行 四谷支店
(普) 0404403

一般社団法人

古伊万里再生プロジェクト

ニュースレターを今後不定期で配信していく予定です。ご希望の方は事務局までメールでお申し込みください。

Mail: roipjapan@gmail.com

活動報告

- 2019.0509 桜友会月例会にて荒川正明教授講演
- 2019.06.6~11 ロースドルフ城訪問、ウィーン応用美術大学訪問
オーストリア国営放送取材
- 2019.08.11~16 ロースドルフ城現地調査

イベント

- 2019.09.03
ウィーン料理とピアノの饗宴@銀座ハブ
スブルク【完売】
- 2019.10.06
古伊万里再生プロジェクト秋のコンサート@中目黒GTプラザホール(チケットピアノにて好評発売中)
- 2019.11.30
常盤会チャリティ講演にて保科真智子代表講演
- 2020.10.~
大倉集古館にて展覧会開催



皆様にお楽しみいただけるイベントを企画。決定イベントは順次HP (www.ROIP.jp) に記載します。あわせてご覧ください。



オーストリア文化フォーラム

【特別協力】 公益財団法人大倉文化財団

【協賛】 全日本空輸株式会社、土佐酒造株式会社ほか

【助成】 一般社団法人東京倶楽部、公益財団法人山口育英奨学会ほか

【後援】 オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム / 日澳協会